



にしゅうらしえん 学校安全 SPS 通信



大阪府立西浦支援学校
学校安全委員会
令和8年9月11日 第1号

SPS(セーフティプロモーションスクール)って?

西浦支援学校は、令和6年3月にSPS(セーフティプロモーションスクール)に認証され、令和7年度から9年間、「災害安全」「生活安全」「交通安全」の3つの安全に取り組んでいきます。SPS(セーフティプロモーションスクール)とは、教職員や児童生徒だけでなく、保護者、地域の関係機関が「チーム」となって協同し、安心・安全な学校づくりに継続的に取り組み、推進していることが評価された学校のことです。SPS通信では、西浦支援の学校安全の取り組みを定期的にお伝えします。

<「個人防災袋」を導入しました!>

災害時や非常時など、保護者のお迎えまでの間、学校で長い時間過ごすことになった場合に備えて、一人ひとりに合った「個人防災袋」をご家庭で用意

していただくことになりました。6月の受水槽トラブルでは水道が使えなくなり、給食の提供に影響があった際には、個人防災袋を使用することも検討されました。あらためて、個人防災袋の必要性を感じました。



「SPS サポーター」本格始動

<任命式>

学校の安全を守る
リーダーである、SPS
サポーターが16人選出
されました。校長室にて



校長先生と准校長先生から任命証が手渡されました。

<ケガ予防・校内の安全点検>

小学部、中学部のSPSサポーターは、校内でのケガ等の調査やポスター作り、ろうかに中央線を貼るなど、ケガ等の予防啓発活動に取り組めます。高等部のSPSサポーターは、校内や遊具の安全点検を行い、ケガにつながる劣化や壊れている所がないかを見回ります。



「災害安全」2年め

令和7年度から3年間は、「災害安全」を重点項目とし、訓練や防災計画の見直しに取り組めます。今年度は「災害安全」2年めとなります。教職員は、避難所運営ゲーム(HUG)の研修や、防災学習に特化した公開授業、「家庭へつなげる安全教育」の人権研修など、防災・安全に関する知識を深めました。

<訓練は年間13回>

訓練においては、他校と比較して多く取り組んでいるところが、西浦支援の強みです。「非常時を日常的に」日ごろから、非常時を想定した訓練に取り組むことで、もしものときも慌てず落ち着いて行動できます。今年度も、消防署や警察署などと連携し、体験をとおして大切な命を守る力や防災の意識を高めています。

